

## 第5回世界工学会議(WECC2015 京都)

### 準備状況報告

標記会議開催準備のため、2014年度(平成26年度)においては、組織委員会を1回、実行委員会を3回開催し、各部会から提出された企画案の審議を行った。更に各部会の長により構成される幹事会(5回開催)において下記の諸準備の審議・調整を行った。

#### 主要な活動

##### 1. プログラム編成:

当会議は「持続的な成長と社会の発展に向けたイノベーション」「イノベーション実現に向けた工学研究および開発」「社会のための工学、社会の中の工学」を基調テーマとして、10Trackに50件余の企画セッションを編成し、更にそれらのセッションのテーマに応じた一般からの発表申込みをポスターセッションとして募集した。

##### 講演発表方式:

- a) 企画セッション: 当会議は専門分野に限定した学術的研究発表ではなく、グローバルな視点から技術開発の動向とその社会的意義を俯瞰することに主眼をおいて開催するものであるため、企画セッションの各講演は当該分野の指導的研究者・技術者に依頼した。(国内在住研究者・技術者(来日研究者・技術者を含む): 約190名、 海外研究者・技術者: 約60名)
- b) ポスター発表: 国内外から合わせて約350件の応募があった。

基調講演: 下記7名の講演を予定している。

- ・UNESCO 事務局長
- ・H.E. Professor Dr. Han Seung-Soo  
UN Secretary-General's Special Envoy on Disaster Risk Reduction and Water
- ・田中伸男 前 IEA 事務局長
- ・豊田章一郎 トヨタ自動車 名誉会長
- ・国土交通大臣 (依頼中)
- ・経済産業大臣 (依頼中)
- ・天野 浩 名古屋大学教授

##### 2. 技術展示会: 2つの会場を利用して技術展示会を行う。

第1会場(100ブース)は発展途上国等の社会インフラの構築・整備に焦点を絞り、第2会場(60ブース)は先端技術・製品の展示とする。各会場の展示はセッション講演テーマとリンクさせ、両者一体として技術情報が得られるようにする。

##### 3. 京都プログラム (11月29日(日)午後、京都商工会議所講堂にて開催)

京都の文化に精通した3名の講師を招いて、国内外からの参加者に京都の産業と歴史・文化を紹介する京都プログラムを開催する(市民も聴講自由)。同プログラムでは講演とともに、会議期間中(11月30日~12月2日)国際会議場館内で京都の産業・伝統工芸を紹介するコーナーも設置する。

4. エンジニアリング・カフェ(11月30日(月)午後、同志社大学 今出川キャンパスで開催)  
学生等若者に工学と社会との関わりについて考える機会を提供するため、工学以外の指導的研究者3名をお招きして講演と学生との意見交換を御願います。
5. テクニカルツアーおよび観光ツアー  
海外からの参加者に関西地区の企業や公的研究機関を見学するテクニカルツアーを会議前の11月27日と会議終了後の12月3日に実施する。また会議終了後の観光ツアーも併せて企画している。
6. 会議広報活動  
WECC2015のWebsiteに加えて、社会全般に当会議を周知し、若い世代にも当会議の認知度を高めるためFacebook、Twitter等のSocial Networking Systemの活用を行っている。更にJapan Times等の新聞とタイアップして特集記事を編成してもらうよう企画を進めている。
7. 特記事項
  - (a)日本学術会議およびUNESCOとの共同主催:  
日本学術会議との共同主催を申請し承認されていたが、更に2014年6月に内閣の閣議了解が得られた。これに伴い、開会式に皇室関係者にご臨席いただくことが可能になった。既にUNESCOも当会議に参画することになっているので、当会議は日本工学会、日本学術会議、WFEO、UNESCOの4団体共催にて開催することとなった。
  - (b)クエート工学会との協力協定締結  
WECC2015開催のために、日本工学会、日本学術会議、クエート工学会の3団体による協力協定(Memorandum of Understanding)を締結した。

別添 :Second circular

## 世界工学会議京都会議 WECC2015 Kyoto 準備状況報告

理事(国際担当)、WECC2015 実行委員会委員長

石井 弓夫

世界工学会議開催準備のため、2014 年度(平成 26 年度)には、組織委員会 1 回、実行委員会 2 回の会議を開催し、各部会から提出された企画案の審議を行った。実務レベルにおいては組織委員会(佐藤順一委員長)、実行委員会(石井弓夫委員長)の幹部ならびに各部会の長により構成される幹事会において下記の諸準備の審議・調整を行った。

また佐藤組織委員長、石井実行委員長、伊藤実行委員は 2015 年 3 月の WFEO 常任理事会(パリ)に出席して準備状況を報告し、承認を得た。同時に UNESCO 本部、日本 UNESCO 代表部を訪問し、状況報告と支援の要請を行った。(以下は 2015 年 5 月末の情報による)

## I 会議の構成

## 1) WECC2015 主催者

日本学術会議 SCJ、日本工学会 JFES、世界工学団体連盟 WFEO、UNESCO の 4 団体。

## 2) WECC2015

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ① 全体会議 開会式、基調講演  | 11 月 30 日          |
| ② 学術講演会          | 11 月 30 日～12 月 2 日 |
| ③ ポスター・セッション     | 12 月 1 日～2 日       |
| ④ 京都プログラム        | 11 月 29 日          |
| ⑤ 技術展示会          | 11 月 30 日～12 月 2 日 |
| ⑥ エンジニアリング・カフェ京都 | 11 月 30 日          |
| ⑦ 総括講演、閉会式       | 12 月 2 日           |
| ⑧ 見学ツアー          | 11 月 30 日～12 月 3 日 |
| ⑨ 歓迎レセプション、晚餐会   | 11 月 28 日、12 月 2 日 |

## 3) WFEO 関連行事

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| ① WFEO 総会、理事会      | 12 月 3 日～4 日   |
| ② WFEO 常設委員会       | 11 月 28 日～29 日 |
| ③ WFEO Gala Dinner | 12 月 3 日       |

## II 部会による準備状況

## 1) プログラム・論文部会 岡崎 健部会長

## ① 開会式、基調講演

皇室のご臨席(検討中)、国連、UNESCO、IAE の VIP、LED ノーベル賞受賞者、経済人、関係大臣の基調講演

## ② 学術講演

並行する 10 の Track に各々 5 個のセッション、各セッションは 5 人の講演者よりなる。セッション講演者は会員学会が中心となって指名(招待)した。講演者は約 250 名。

8・31 日を提出期限としてフルペーパー Proc. に載せる。

会場配置を内定。

Track 1 Resilient Infrastructure for Society

Track 2 Energy for a Sustainable Society

Track 3 Natural Resources for a Sustainable Society

Track 4 Urban Development and Infrastructure

Track 5 Mobility and Communication Technology

Track 6 Industry for Society

Track 7 Life Innovation

Track 8 Engineering for Society and Engineering in Society

Track 9 Engineering Education and Women in Engineering

Track 10 International Activities

- ③ ポスター・セッション  
 応募論文を査読し約 380 編を採用。ショートスピーチも検討したが、場所、時間の関係で無しにした。ポスター・セッション会場配置を内定。  
 8・31 日を提出期限としてフルペーパーProc.に載せる。
- 2) 技術展示部会 山崎広樹部会長  
 160 小間 (50 万円/小間) を用意した。関係協会、企業等に出展を要請中。国内で約 120 小間が成約。海外にも働き掛け。これは、大会収入の大きな部分を占めるので、鋭意、働き掛け。出展者には展示場への 1,000 円相当の無料入場券 (100 枚/小間) を提供する。
- 3) 広報部会 位野木万里部会長
- ① WebSite 構築 <http://www.wecc.2015.info/index.html>  
 プログラム詳細公開  
 参加登録 (ホテル予約) 受付、見学会・ツアー申込受付  
 現在の延べ訪問者数 3,800  
 会員学会、関係協会等にバナー掲載を依頼。  
 Facebook、Twitter 等の Social Networking Service SNS の活用を開始。
- ② WECC2015 Second Circular を作成し、関係者に配布。
- ③ News Letter # 4 まで発行。今後毎月発行する。
- ④ メディアへの露出  
 Japan Times 特集座談会 佐藤会長、大西学術会議会長、中村東京都市大前総長、中鉢産総研理事長 6・11 日予定。京都新聞に広告を予定、一般メディアへの発表も検討中
- 4) アドミニストレーション部会 佐藤順一部会長
- ① 予算検討 2 億 4 千万程度と仮積算
- ② 参加登録 参加者確保は最重要課題 有料登録者は 2,000 を目標。  
 8・31 日の早割登録期限を目標に、部門ごと (動員) 目標を設定。  
 建築・土木分野 300 機械分野 300 電気分野 300  
 電子・情報分野 200 化学分野 200 (国内合計 1,300)  
 中東 200 中国 100 ブラジル 50 豪州 50 台湾・韓国 50 その他 50  
 (海外計 600-700)
- ③ 京都宣言  
 佐藤組織委員長を中心に検討し、8 月頃学術会議小松 WFEO 分科会委員長 (組織委員会副委員長) を通じて SCJ と調整し日本案とする。これを UNESCO の確認を経て WFEO の確認を得、閉会式の前の総括講演で決定し発表する。
- 5) エンジニアリング・カフェ部会 荒川 薫部会長  
 京都本部と同志社大の協力を得て、「工学と文化」のテーマで、同志社大今出川キャンパスにおいて若者を対象としたカフェを行う。講演者内定
- 6) 京都本部 谷口栄一本部長
- ① 開会式次第、警備態勢が内定
- ② 社会的行事  
 歓迎レセプションは京都国際会館  
 晩餐会は都ホテル (蹴上)
- ③ 京都プログラム 講演者が内定  
 会場は市民が入り易いように市内中心部にある京都産業会館とする。
- ④ 京都産業文化コーナー ロビーに設置。みやげ即売。
- ⑤ 技術ツアー、見学ツアー 5 コースが内定
- ⑥ 学術講演会会場整理 京都本部が担当する。
- 7) 事務局 中畷事務長、(株) コングレ

### III 今後の予定

幹事会 6 月 26 日 以後、毎月開催； 実行委員会 7 月 16 日、組織委員会 7 月 27 日

WECC2015 11 月 29 日夕～12 月 2 日

WFEO 11 月 28 日～12 月 4 日